

「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」を 宣言しました

12月9日、本市は「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」を宣言しました。

鈴鹿市と民間事業者や関係機関、関係団体、ボランティア等の様々な主体が協働で認知症の人を含む誰にもやさしい地域づくりを推進していくことができるよう、市民に認知症フレンドリーの周知と参画をお願いするものです。

参画していただく店舗などには、「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」ののぼり旗を交付します。



◀ 認知症サポーター
キャラバン
マスコット
キャラクター
「ロバ隊長」

「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」宣言の 基本理念

認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく希望をもって日常生活を過ごすことができる地域を目指すため、「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」を宣言し、みんなが参画できる認知症施策を推進します。



「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」宣言により、次のようなまちを目指します

認知症の人と家族が暮らしやすい地域をつくるためには、医療・介護関係者のみならず、地域住民、学校、企業などを含む地域のすべての人が認知症を正しく理解し、認知症の人と家族の視点を重視して進めることが重要です。

みんながつながり合い、知恵を出し合い、できることに取り組むことで、認知症の人を含む誰もが安心して暮らしやすい鈴鹿市を目指します。

認知症フレンドリーシティの取り組み

本市では、以下のような取り組みを行っています。

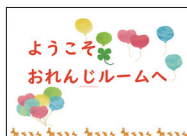
認知症フレンドリーな地域づくり

- ・ おもいやりレジの設置事業者の拡大
- ・ スローショッピングの取り組みを支援 など



居場所づくり

- ・ 認知症カフェの充実
- ・ 認知症の人や家族のつどいの場である「おれんじルーム」の開催 など



地域の応援者を増やす

- ・ 認知症サポーター養成講座の開催
- ・ SUZUKAまるごとアイネットによる地域の見守り事業との連携
- ・ チームオレンジ鈴鹿による活動の充実
- ・ 認知症高齢者等安心見守りシール・見守り保険事業の充実 など

